

# 伊賀市上野西部 公民館だより



第 128 号

平成 25 年 12 月 13 日

編 集 発 行: 上野西部公民館

所 在 地: 伊賀市上野福居町

TEL・fax 0595-23-9779

上野西部地区の人口 世帯数 1,488 人口 3,389 人(内男 1,604・女 1,785) 25.11.30 現在

## 上野西部地区防災訓練

12月7日 上野西部地区防災訓練が約150名の参加で行われました。9時地震発生を想定した防災放送で 各町の一時立寄り所への集合を呼び掛け、避難所開設後 避難所への避難を放送で呼び掛けました。一時立寄り



所から避難所への経路を確認しながら集合。訓練会場(安立寺)では中消防署の指導で 〇消火訓練 〇煙道体験 〇救護訓練 を三班に分かれて行われました。訓練終了後 上野西部公民館へ移動 炊き出しを想定して作られた おにぎり・豚汁をいただき 保存食のアルファ米の試食も行われました。保存食のカンパンを配布 散会しました。





# 伊賀市の文化財

上野西部地区編 No. 7

伊賀市教育委員会発行 “伊賀の文化財” より

<b>県11</b>	いりまじりけじゅうたく	しゅおくながやもん	おもてやどぞう	つかりしょじょう	たてものちょう	えず
<b>建造物</b>	<b>入交家住宅 主屋 長屋門 表屋 土蔵</b>			<b>附書状・建物帳・絵図</b>		
時代	江戸	員数	4棟	備考	26-0313	
指定年月日	平成10年3月17日	所在地	上野相生町2828			

現在の入交家住宅は、享保18年(1733)に二代目入交勘平成方が藤堂藩から拝領した屋敷です。その当時の屋敷の様子は明らかではありませんが、文化14年(1817)から文政2年(1819)の様子は古絵図に描かれていて、南北21間、東19間4尺、西19間2尺の規模で、通りに面して長屋門が北面して建ち、敷地の中央に主屋、その南に土蔵、その東に味噌部屋、米蔵が配されていたようです。現在は長屋門の西に表屋が配されていますが、これは安政5年(1858)の建築とされます。



<b>県47</b>	もくぞうしょうかんのんぼ	さつりゅうぞう	
<b>彫刻</b>	<b>木造聖観音菩薩立像</b>		
時代	平安	所在地	上野徳居町3260(廣禪寺)
指定年月日	平成17年3月17日	備考	
員数	1躯		

像高 166.7 cmの等身の像です。檜材の割矧造もしくは寄木造、内割り・割首をしています。髪を五束に結び、天冠台を彫出して、白毫相を表しています。条帛を懸け、裙・腰布をつけています。天衣は両肩から左右前膊(ぜんはく)に懸かり、体側に垂れ下がっています。両手は臂で曲げ前方に伸ばし、左は腹前で未敷(みふ)蓮華を握り、右は胸前で掌を斜め前に向けて立て、五指を伸ばしています。腰は少し左に捻り、右を遊脚にして立ちます。面相は後補の厚い漆箔層におおわれて損じていますが、定朝様の菩薩像の典型が示され、平安後期、12世紀の作とされます。



## 人権パネル展

“差別をなくす強調月間”に合わせて 上野西部公民館で 福島差別・障がい者の人権・犯罪被害者の人権についての 人権パネル展を開催しました。

11月26日には 上野西部地区人権草の根運動推進会議リーダー研修会が開催されました。



# おもちつき大会

上野西部地区住民自治協議会

上野西部公民館 健康の駅長



12月1日(日) 上野西部公民館に於いて 世代間交流事業としておもちつき大会が行われました。当初120名程度の参加を予定で計画しましたが 参加者180名と大巾に増加し急きょ会場を1カ所(福居町集議所)増やし、臼も3台用意しました。昔ながらの杵と石臼でつきました。小さい子どもたちも 小さい杵を持ち一生懸命についていました。

ついたおもちは即きな粉もちにして試食。1回目は 大先輩の方々の指導で大福もちをつくりお土産用を確保。2回目はついたおもちを しょうゆもち・きな粉もち・あんころもち。のりもち等にお腹いっぱい食べ子供たちは満足の様子でした。用意した3斗のおもちが無くなり解散しました。この様子は 3日ケーブルテレビで放映されました。



ボウリング大会1月26日

詳しくは後日配布のチラシをご覧ください

# 年輪

## 年輪伊賀句会

大日堂梁に牛脊冬日さす

隆展

寄せ佛四方に供華あり冬の寺

教治

庭畑に枇杷の花咲き伊賀旧家

陽代

枇杷の花絶家の庭に鎌錆びて

ちい

隻腕仁王獮夫の入りし山を負ふ

武

月欠けし夜も出遊ぶ狐かな

まさ子

椿象潜む買手決まりし大盆に

登子

冬曇本堂牛の草鞋吊る

澄子

石落咲くや肩を寄せ合ふ石佛

美代子

綿虫や朱の山門は鷓尾をもつ

アサ子

石龕に三十三仏冬うらら

孝子

もはや刃向かはぬ鎌切冬に入る

石火

木地師測る盆の直径ノギス冷ゆ

禮子

僧の子の墓へ来て鳴く笹子かな

緑志

綿虫や木の葉動かす青き翅

節

冬鴟や堂の雷針折れて立つ

誠

冬の日の当る大豆をたたきをり

良

踏まれるる邪鬼の目に咲く冬堇

尚子

古利凍て仁王片腕欠けしまま

幸子

笹鳴きや大きく築く猿の墓

みよ

年末年始 お酒を飲む機会が増えます

飲酒運転の無い 安心で安全な

暮らしを目指しましょう

